

令和7年度 和歌山市立 和佐小学校 スクールプラン

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の推進
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子供の安全確保の徹底
- 地域とともにある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 子供の学力を定着させてほしい。
- 子供にとって、楽しい学校であり続けてほしい。
- 学校のことをわかりやすく伝えてほしい。
- 地域との交流をどんどん進めてほしい。

【学 校 教 育 目 標】

心身ともに健康で 自ら学び
地域と共に生きる子どもを育てる

【めざす子ども像】

- 思いやりとやさしさのある子
- 健やかに育ち、明るく元気な子
- よく考え自ら学ぶ子
- 和佐が好きな子

前年度の学校評価

- 学校だよりやホームページ等で、広報していることにより、様子がよくわかる。
- ICT化が進む中で、子どもの人権意識や情報モラルを高めることが重要である。
- デジタル化の世の中ではあるが、図書館の充実を図り、活字に触れ、相手の心に届く文章力が必要である。

児童の実態

- 学校が楽しいと感じている児童が多い。
- 授業で自分の意見を伝えることが苦手と感じている児童が多い。
(自己肯定感・他者信頼感が十分でない)
- 早寝早起きができていないと感じている子が多い。

重点目標

地域とともにある学校

- ◎地域教育力の有効的な活用
- ◎学校の情報提供
- ◎学校運営協議会との連携・協働

具体的な取組

- 地域先達事業を活用し、地域の教育力を積極的に活用
- 学校だより・学年だより等、各種たよりと、学校ホームページの充実により、保護者と地域に、分かりやすい学校教育活動の情報を発信する
- 学校運営協議会を通して、学校、保護者、地域の三者で互いの情報や課題を共有し、よりよい学校づくりを進める

指標

- ・「学校は、ホームページやお便りなどを通して学校の様子を伝えている」
(保護者85%以上)
- ・学校運営協議会による評価

ゆたかな心と健やかな体の育成

- ◎特別の教科道徳、人権教育の充実
- 体力の向上と共に健やかな体の育成
- 生活指導の充実(情報モラル指導等含む)
- 仲間づくりの推進と学級経営の充実(自己肯定感・他者信頼感の育成)
- 幼小連携を図る

- 『生きる力』『心のとびら』を活用するとともに、教育活動全体を通して、人権意識を高める
- 幼小連携を通じ、相手意識をもった仲間づくり
- 各学年に応じた情報モラル等の指導を行う
- 児童にアンケートを実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める
- 「生活調べアンケート」を行い、生活習慣の見直しやゲーム・スマホの現状等を知り、「早寝早起き朝ごはん」の推進を図る

- ・「早寝早起き等基本的な生活習慣ができている」
(児童・保護者 80%以上)
- ・「仲間や相手の気持ちを考える心を育む取組を行っている」
(保護者80%以上)

確かな学力の向上

- ◎研究教科である生活科・総合的な学習の時間を中心に、児童が自ら学ぼうとする意欲を育てる
- 授業づくりの徹底
(研究授業や自主的な校内公開授業を通して)
- 基礎学力の定着(学習タイム等)

- 生活科・総合的な学習の時間の指導について、必要な時に外部より講師を招き、研修をする体制をとる
- 「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」の徹底を図り、基礎学力の定着を図る
- 学習タイムを利用し、児童の実態を鑑み、苦手な単元の学習を中心に取り組む
- 学校図書館ボランティアの協力を得て、読書環境の整備に取り組み、本に親しみやすくする

- ・県学習到達度調査で平均正答率が県平均と同等をめざす
- ・「毎日の授業はよくわかる」
(児童80%以上)
- ・「子どもの学力はついていると感じる」
(保護者80%以上)

◎：特に重点的に取り組むこと